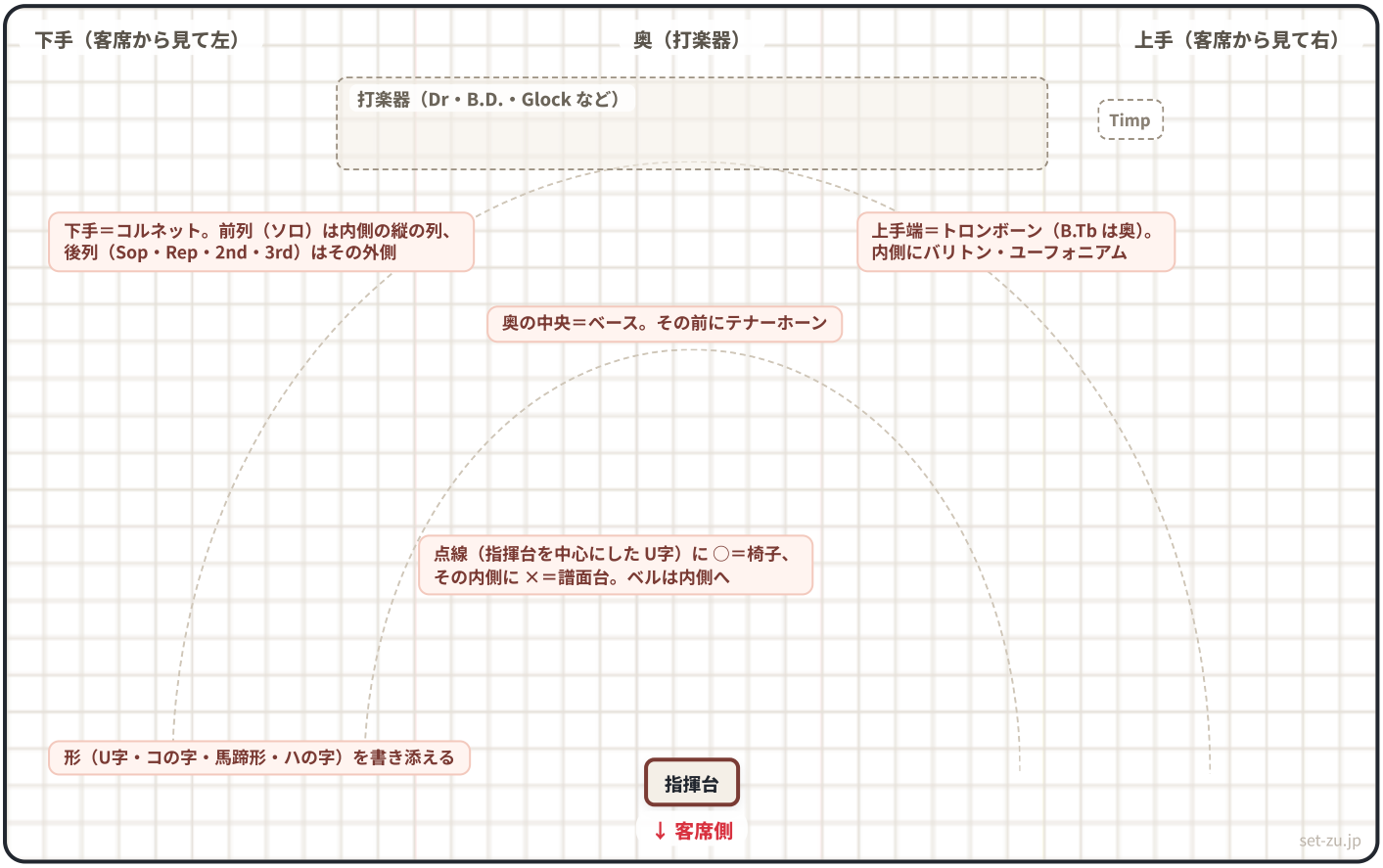
金管バンド 配置図 記入用（英国式ブラスバンド・学校の金管バンド）

コルネット＝**下手**、トロンボーン＝**上手端**
椅子＝◯・譜面台＝✕・ベルは**内側**
様式があれば**様式が最優先**

団体名	本番（日付・会場）	出演人数（指揮者を除く）	版・日付・確認者
			第　版（　／　） 確認：

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。指揮台を中心に、奥から ベース→ホーン→左右の列 の順に置く）



書き方：　◯ ＝椅子（中にパート）　✕ ＝譜面台（奏者の前・内側）　打楽器は実際の大きさの図＋楽器名　立奏＝点線の◯に「立」
ベルは内側（指揮者）へ

② パート別の人数・椅子・譜面台（図の ◯ と ✕ を数えて合計）／打楽器・立奏・入退場

パート	人数	椅子	譜面台	メモ
コルネット（前列）				
コルネット（後列）				
フリューゲル				
テナーホーン				
バリトン				
ユーフォニアム				
トロンボーン				
ベース				
打楽器				
（　　）				
合計				

打楽器・ティンパニ
楽器と位置。Timp は上手の奥が多い

ピアノ・立奏・持込
ピアノ：使う ・ 使わない
立奏：
持込：
使うか／立つ人と曲／持込の椅子や台

入退場・伝達事項
入場：下手 ・ 上手／退場：下手 ・ 上手
打楽器の搬入：
入る袖・出る袖・打楽器の搬入・ベルの向き

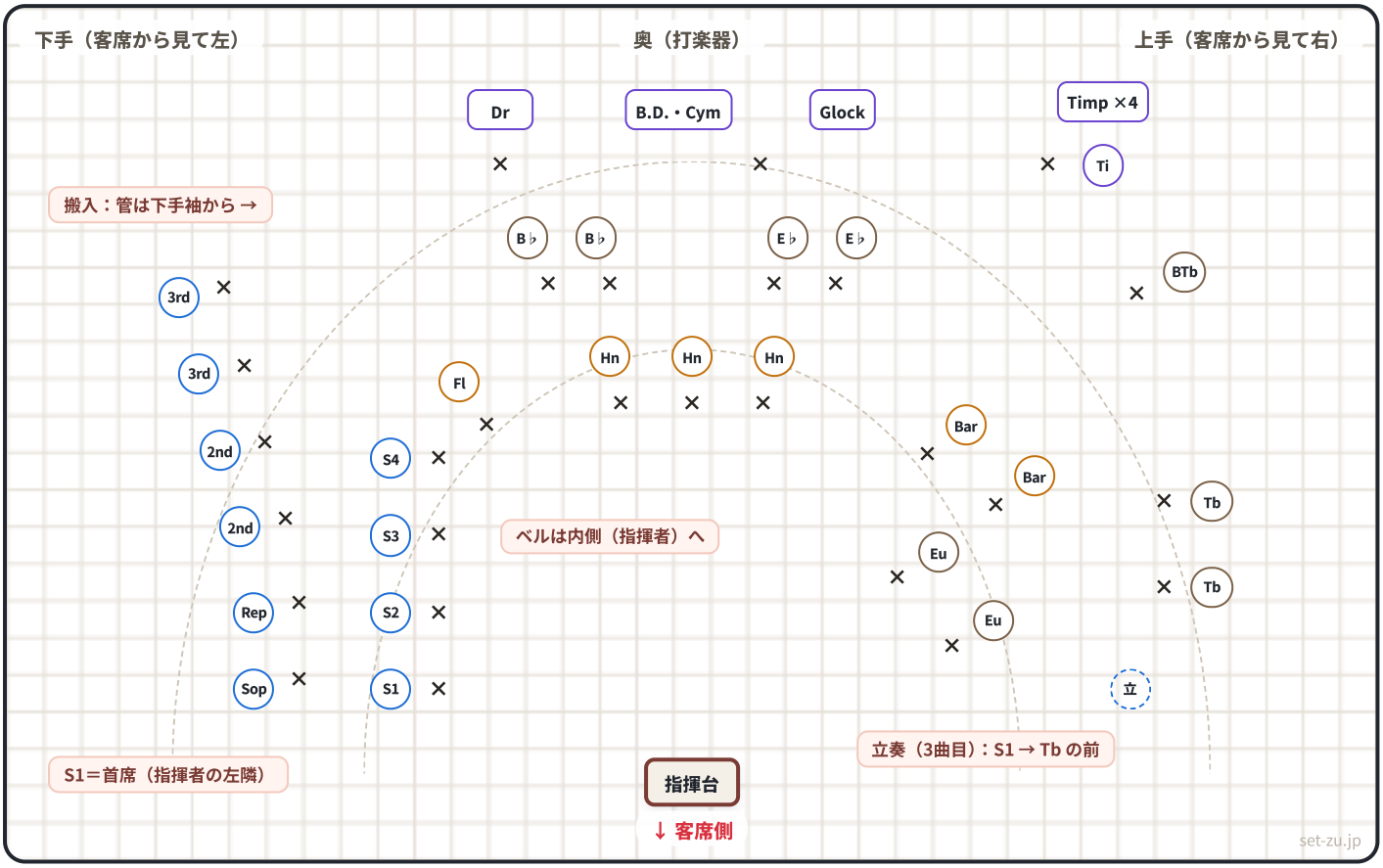
このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

金管バンド 配置図 記入例（英国式ブラスバンド・U字）

記入例：英国式ブラスバンド 31人
金管28・打楽器3／U字（いちばん多い形）
椅子29脚・譜面台31本・立奏1

団体名	本番（日付・会場）	出演人数（指揮者を除く）	版・日付・確認者
○○ブラスバンド	3/8（日）定期演奏会 ○○市民会館 大ホール	31人（金管28・打楽器3）	第2版（2/20）確認：山田

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。指揮台を中心に、奥から ベース→ホーン→左右の列 の順に置く）



書き方： ◯ ＝椅子（中にパート）　× ＝譜面台（奏者の前・内側）　打楽器は実際の大きさの図＋楽器名　立奏＝点線の○に「立」
ベルは内側（指揮者）へ

② パート別の人数・椅子・譜面台（図の ○ と × を数えて合計）／打楽器・立奏・入退場

パート	人数	椅子	譜面台	メモ
コルネット（前列）	4	4	4	Solo×4・首席が指揮者の左隣
コルネット（後列）	6	6	6	Sop・Rep・2nd×2・3rd×2
フリューゲル	1	1	1	Solo と Hn の間
テナーホーン	3	3	3	ソロが指揮者の左側
バリトン	2	2	2	Euph の後ろ
ユーフォニアム	2	2	2	
トロンボーン	3	3	3	Tb×2＋B.Tb（上手奥）
ベース	4	4	4	E♭Bs×2・B♭Bs×2
打楽器	3	1	3	椅子は Timp だけ
合計	31	29	31	

打楽器・ティンパニ
Timp：上手奥（B.Tb の隣）
Dr：奥の中央／ミドル1人（B.D.・Cym・Glock）
楽器と位置。Timp は上手の奥が多い

ピアノ・立奏・持込
ピアノ：使わない
立奏：3曲目で Solo 1人（Tb の前へ）
持込：なし（椅子・譜面台は会館）
使うか／立つ人と曲／持込の椅子や台

入退場・伝達事項
管＝下手から入場・上手へ退場
打楽器は上手袖から搬入
ベルは内側（指示の曲だけ客席へ）
入る袖・出る袖・打楽器の搬入・ベルの向き

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

金管バンドの配置 早見表 席順・形・記号

高い楽器は**下手**、低い楽器は**上手と奥**
打楽器は**最後列**、Timp は**上手の奥**
形に**正解はない**。決めた形を書く

① 英国式ブラスバンドの席順（28人＋打楽器。下手＝指揮者の左）

パート	人数	位置・理由
ソロ・コルネット	**4**	**前列・下手**（指揮者の左）の縦の列。指揮者にいちばん近い席が首席（プリンシパル）
ソプラノ	**1**	E♭のソプラノ・コルネット。**後列コルネットの客席側の端**
リピアノ	**1**	後列コルネットの先頭。ソプラノの奥隣
セカンド・サード	**各2**	後列コルネットの続き。**下手の奥へ斜めに**並ぶ
フリューゲル	**1**	前列コルネットとテナーホーンの間。**2つの音色のつなぎ役**
テナーホーン	**3**	中央の列（ソロ・1st・2nd）。ソロは指揮者の左側が多いが、逆に座るバンドもある
バリトン	**2**	上手寄りの内側。ユーフォニアムの後ろ
ユーフォニアム	**2**	上手の前寄りの内側（指揮者の右）
トロンボーン	**2＋バス1**	**上手端**の列。バス・トロンボーンは上手の奥
ベース	**E♭2・B♭2**	**中央の奥**（テナーホーンの後ろ）
打楽器	**3前後**	いちばん奥。**ティンパニは上手の奥**

並びはおおむね音の高い楽器を指揮者の左（下手）、低い楽器を右（上手）と奥へ。コルネットは下手・トロンボーンは上手端・ベースは奥・打楽器は最後列は、どの形でも変わりません。コルネットは前列4人と後列6人（ソプラノを含む）で、全体の3分の1を超えます。

② 形の比較（U字・コの字・馬蹄形・ハの字・半円）

形	特徴	向く場面・注意
U字	**コの字の角を丸めた形。英国・スイス・フランス・豪州・NZでよく見る**	端の奏者からも指揮が見やすい。**まずはこの形**から考える
コの字	**日本でよく見る。列が直角に曲がる**	端の席（ソロと3rdのコルネット・バリトン・バストロ）から**指揮が見えにくい**。ひな壇や狭い会場で起きやすい
馬蹄形	**円に近づけ、椅子をほぼ密着させる**	英国の主要選手権（ブラインド審査）の形。**ベルの音が客席に直接届かない**
ハの字	**左右の列を客席側へ開く**	客席から顔が見える。**コルネットとトロンボーンの音量差**に注意。ひな壇があると採られやすい
半円	**吹奏楽やオーケストラと同じ開き方**	北欧で多い。トップ奏者の動きが見えて合わせやすい

形に正解はありません。英国式は「コの字型」と紹介されることが多いものの、実際には馬蹄形やU字で並ぶことが多いとされます。リハで1人が客席に降りて聞き、決めた形を配置図に書きます。

③ 配置図の記号

記号	意味	書き添えること
○	**椅子（1人1脚）**	中にパートの略記号（Solo・Rep・Hn・Bar など）
×	**譜面台（奏者の前）**	人数分。打楽器は奏者ごとに1本
□	**打楽器**	実際の大きさで1台ずつ＋楽器名（Timp・Dr・B.D.・Glock）
立	**立奏**	立つ人の○に「立」と曲名。ソロ・コルネットの立奏は**トロンボーンの位置**に出ることが多い
矢印	**ベルの向き**	指示がなければ**内側（指揮者）へ**。客席を向く曲だけ注記
◎	**ピアノ椅子**	使う曲だけ。ピアノの位置が決まっている会場は様式どおり

上手・下手は客席から見た向きで書きます。大会や会場の様式（記入用紙）があれば様式が最優先で、このルールは様式が無いときの書き方です。

④ 略記号の例（団内でどちらかに統一する）

コルネット	ソプラノ **Sop**　ソロ **Solo**　リピアノ **Rep**　セカンド／サード **2nd／3rd**
ホーン・中音	フリューゲルホーン **Flug**　テナーホーン（アルトホルン） **Hn**　バリトン **Bar**　ユーフォニアム **Euph**
トロンボーン・低音	トロンボーン **Tb**　バス・トロンボーン **B.Tb**　E♭ベース **E♭Bs**　B♭ベース **B♭Bs**
打楽器	ティンパニ **Timp**　ドラムキット **Dr**　バスドラム **B.D.**　グロッケン **Glock**

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

大会・会場・人数・提出前チェック 当日に止まらないために

大会は**その年の要項と様式**が最優先
人数が変わったら**版を上げて**出し直す
打楽器を段に載せるなら**客席で聞く**

① 大会・音楽会に出すとき（要項の例）

項目	要項の例	配置図に書くこと
配置図の提出	事前に提出。変更があれば当日の受付で6部	版の数字と日付を入れ、変えた所に印
椅子・譜面台	会場の備品。持込椅子は必要最小限・事前に届け出	椅子と譜面台の数を合計欄に。持込は別に
ピアノ	上手側でのみ使用。使わなくても撤去できない	上手にピアノがある前提で並べる
ピアノ椅子	ピアノ用を含め6脚まで（背付5・ベンチ1）	奏者用に使うなら数を書く
ひな壇	コンクール仕様のひな壇と反響板	段に載せるパートを段ごとに
入退場	管楽器は下手から入場・上手へ退場。打楽器は配置で変わる	打楽器の出入りの袖を図に
セッティング	入れ替えは3分	袖での並び順を配置図の順に

例は全日本小学生バンドフェスティバル（ステージパフォーマンス部門・2024年・札幌コンサートホールKitara）の実施要項です。大会と会場ごとに違うので、**その年の要項と様式が最優先**です。

② 練習場と本番のホールで変わること

項目	音楽室・練習場	本番（ホール）
形	合わせやすさ優先（U字・馬蹄形）	顔を見せるならハの字。コルネットとユーフォの間を少し空ける例も
ベルの向き	内側（指揮者）へ	内側のまま。壁や反響板に返った音が客席へ届く
椅子の間隔	詰めて並べる	トロンボーン以外はほぼ密着させる例（馬蹄形）
打楽器	床に直置き	段に載せると返りが強い。客席で聞いて決める
椅子・譜面台	学校・練習場の物	会場の備品。数と持込を配置図に

③ 卒業・入部で人数が変わったら（描き直す4ステップ）

手順	やること
① 編成表	パートごとの人数を先に直す（卒業・入部・休み）
② 欠けた席	詰めるか空けるかを決める。楽譜のパートが足りるかを先に見る
③ 増えた人	同じパートの隣に足す。欧州では前列コルネットかベースに1人足す例
④ 版を上げる	版の数字と日付を変え、変えた所に印をつけて出し直す

アマチュアのバンドは楽譜の人数より**多くも少なくもなる**前提で描き直します。英国の選手権は28人が決まりですが、欧州選手権は5人程度の増員が認められています。小学生向けの楽譜には、**最小8パート（8人）**から演奏でき、新入生向けのやさしいパートが付くものもあります。

④ 提出前チェック（12項目）

並び

- ☐ コルネットは下手、トロンボーンは上手端
- ☐ ベースは中央の奥、打楽器は最後列
- ☐ 形（U字・コの字・馬蹄形・ハの字）を決めた
  リハで客席から聞く
- ☐ 端の奏者から指揮が見える

数

- ☐ 椅子の数（打楽器はティンパニの椅子など）
- ☐ 譜面台の数（打楽器も奏者ごと）
- ☐ パート別の人数表と図の○が一致
- ☐ 立奏する人と曲

会場・大会

- ☐ 要項の提出部数と期日
- ☐ ピアノの位置（上手固定の会場）
- ☐ 入退場の袖と打楽器の搬入
- ☐ 版の数字と日付
  変更があれば出し直す

ファイル名の型（メールで送るなら）
団体名_本番日_配置図_第2版.pdf
版の数字を入れると、差し替えたときに取り違えない

セット図くんで作るなら
パートの四角を指揮者を囲む形に並べ、打楽器とティンパニを奥に置くだけ。U字とハの字を何案も比べて、PDFと共有URLで渡せます（set-zu.jp/app/・登録不要）

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp